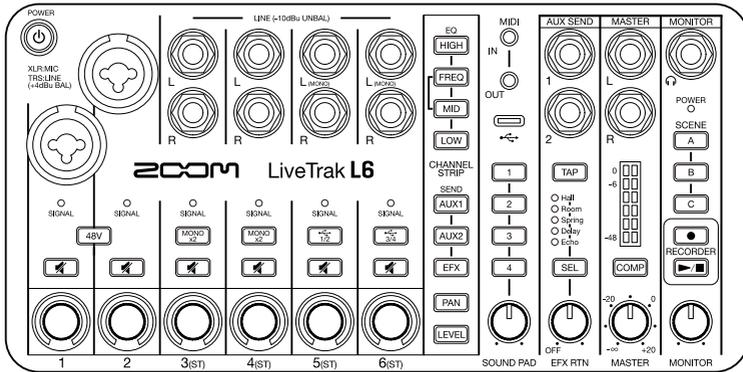


L6 LiveTrak



クイックツアー

製品に関するソフトウェアやドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



zoomcorp.com/help/l6

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

© 2024 ZOOM CORPORATION

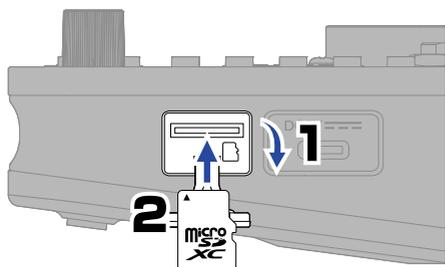
本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

白黒端末では正しく表示できません。

microSD カードをセットする

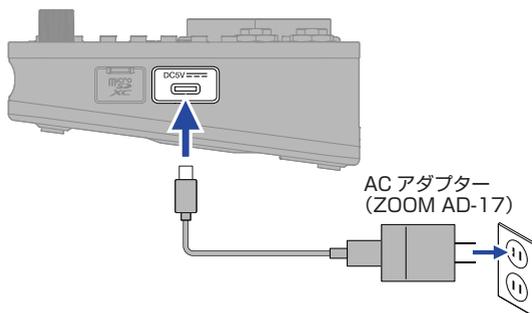


対応記録メディア
microSDHC メモリーカード
microSDXC メモリーカード
動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。
動作確認済み microSD カードは ZOOM の WEB サイト (zoomcorp.com/help/16) で確認してください。

- microSD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- microSD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。microSD カードが飛び出さないようご注意ください。

電源を入れる

AC アダプターを接続する



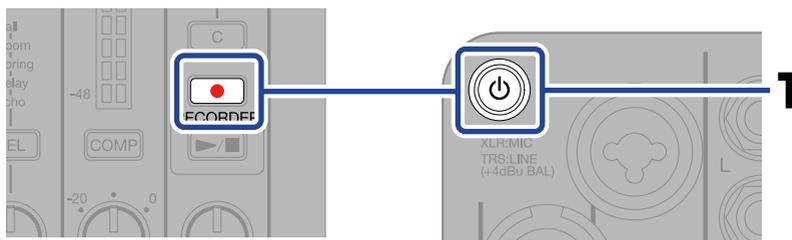
L6 は操作をしない状態で 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
常に電源を ON にしたい場合は、専用アプリ「L6 Editor」を使用して、電源の自動 OFF 機能 (Auto Power Off) の設定を「Off」にしてください。(→ [パソコン用アプリ「L6 Editor」](#))

モバイルバッテリーや単三乾電池 4 本 (アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池) にも対応しています。

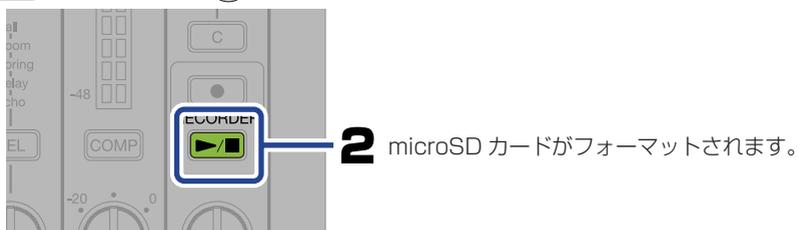
電源を入れる

■ microSD カードをフォーマットして起動する

新しく購入した microSD カードや他の機器で使用していた microSD カードは、性能を最大限に発揮するために必ずフォーマットしてください。

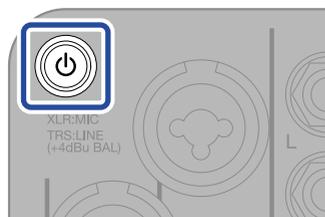


 を押しながらか  を長押しする



microSD カードをフォーマットすると、それまで保存されていたデータは全て消去されます。

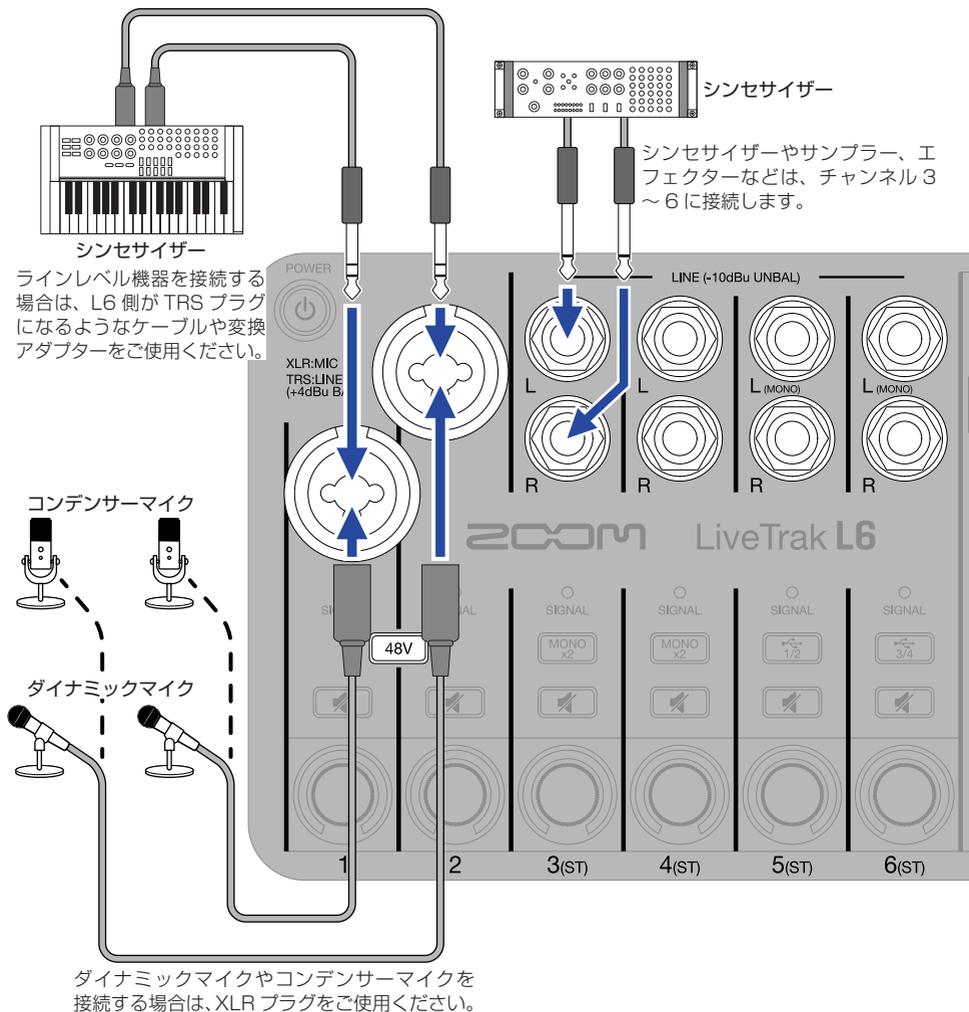
■ microSD カードをフォーマットしないで起動する



 を長押しする

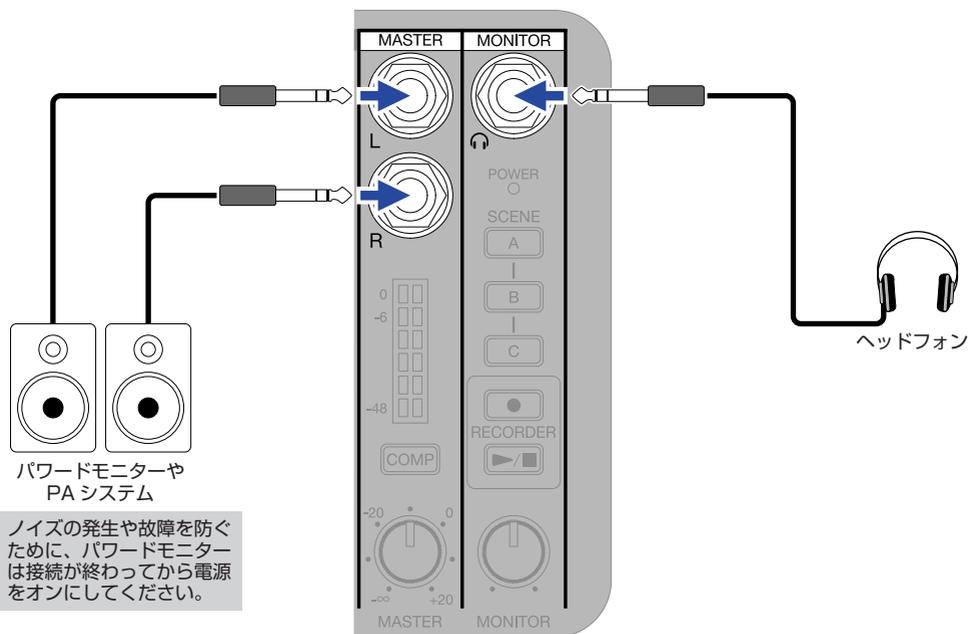
接続する

■マイクや楽器を接続する



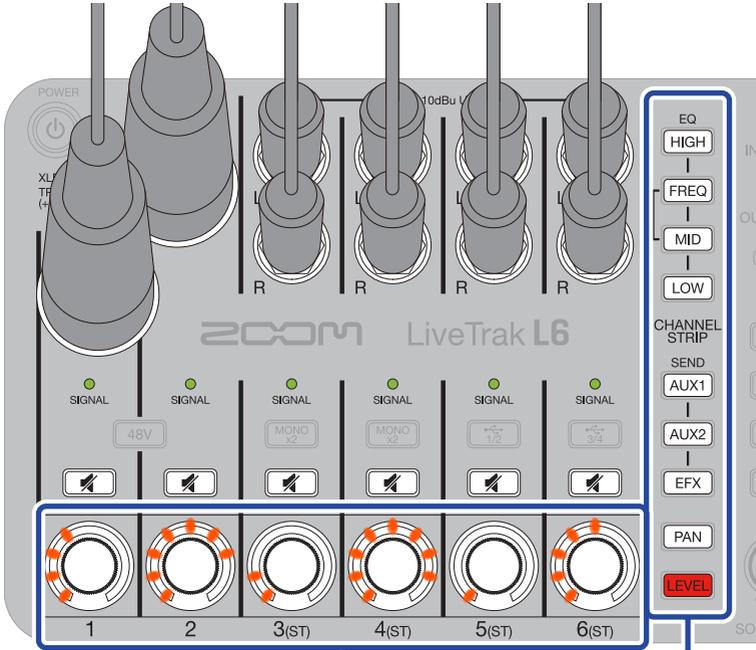
- コンデンサーマイクを接続する場合は、**48V** を押してファンタム電源を供給します。
- ファンタム電源に対応していない機器にはファンタム電源を供給しないでください。機器が破損することがあります。

■パワードモニターやヘッドフォンを接続する



音量、音質、定位を調節する

■各チャンネルの音量、音質、定位を調節する



2 回して調節する

1 押して点灯させる



高域／中域／低域のブースト／カット量を調節します。

FREQ は中域の中心周波数を調節します。(100 Hz ~ 8 kHz)。

AUX1 / **AUX2** は AUX SEND 端子への送り量を調節します。

EFX は内蔵エフェクトへの送り量を調節します。

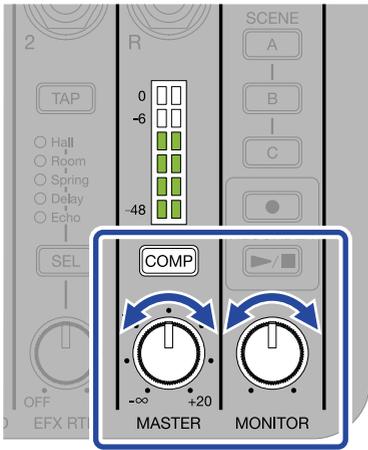
PAN 定位を調節します。

LEVEL 音量を調節します。



を押して点灯させると、そのチャンネルをミュートします。

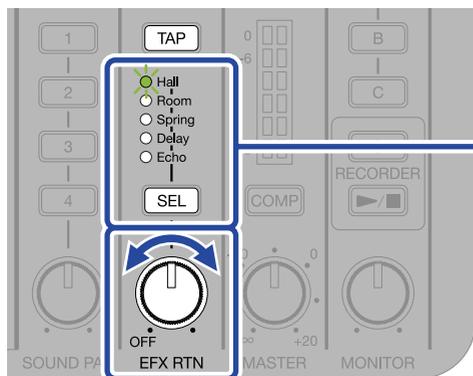
■出力音量を調節する



MASTER OUT、MONITOR OUT（ヘッドフォン）の音量を調節します。

COMP を押して点灯させると、MASTER OUT L/R 端子から出力される音圧を上げつつ、音割れを防ぐことができます。

内蔵エフェクトを使用する



1 押してエフェクトを選択する

2 回して音量を調節する

あらかじめ各チャンネルのエフェクトへの送り量を設定しておいてください。

TAP

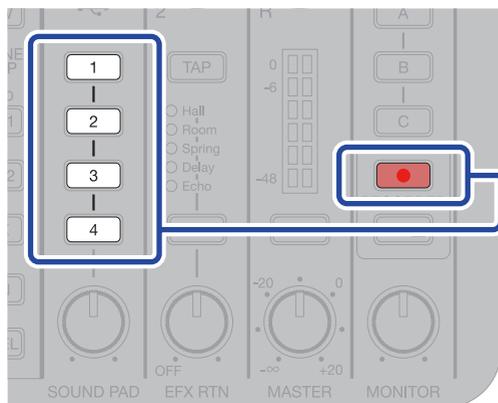
を押した間隔で、Delay と Echo の時間を設定できます。

SOUND PAD を使用する

SOUND PAD ~ を押すと割り当てられた音声を再生します。

L6 本体を使用して ~ に音声を録音できます。

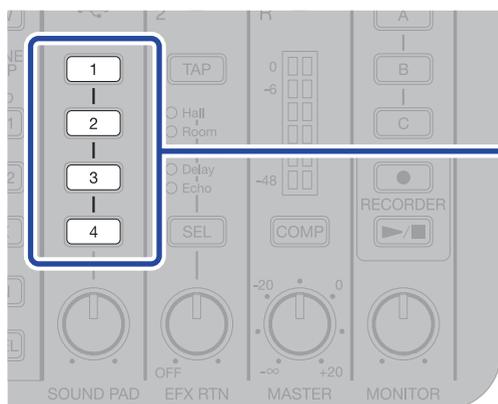
■ SOUND PAD に音声を録音する



1  押したまま

~ を押す

キーが早く点滅し、MASTER OUTの音声を録音が始まります。



2 点滅中の ~ を押す

録音が停止します。

■ SOUND PAD を鳴らす



1 回して音量を調節する

2 押して音声を鳴らす
キーがゆっくり点滅し、音声が鳴ります。
初期状態では、ループ再生 (Loop) になっています。

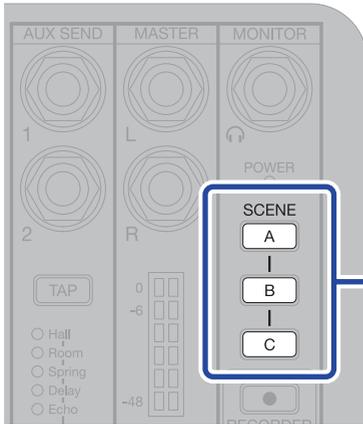
3 もう一度押して音声を止める

L6 をパソコンに接続して専用アプリ「L6 Editor」を使用すると、SOUND PAD に音声ファイルを割り当てたり、個別に再生方法や音量を設定できます。

シーンを使用する

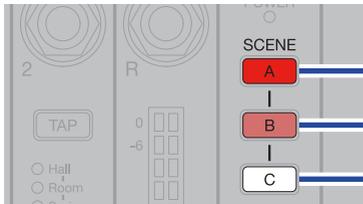
L6 のミキサーの設定をシーンとして SCENE ~ に保存し、いつでも呼び出せます。

■シーンの保存



長押し

キーが短く点滅した後点灯し、
ミキサーの設定が保存されます。



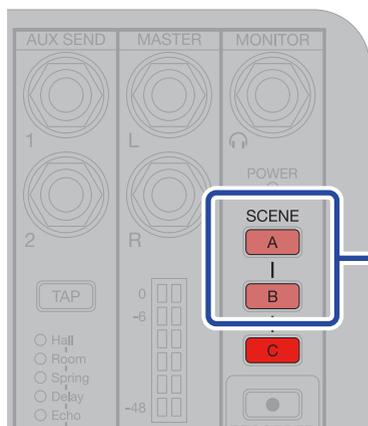
保存され選択されている (明るく点灯)

保存され選択されていない (薄く点灯)

保存されていない (消灯)

選択されているシーンからミキサーの設定を変更すると、キーが点滅します。

■シーンの呼び出し

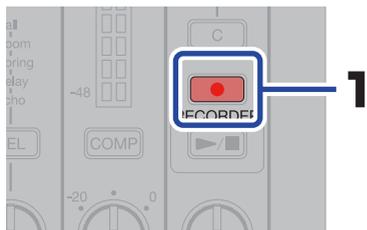


設定が保存されているキー(薄く点灯)
を短くを押す

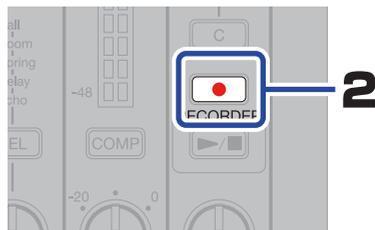
録音 / 停止する

専用アプリ「L6 Editor」を使用すると、L6 の日時を設定できます。(→ [パソコン用アプリ \[L6 Editor\]](#))

ここで設定した日時は、録音ファイルが保存されるフォルダ名として記録されます。

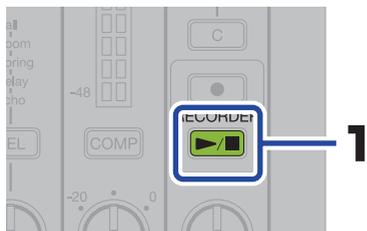


録音が始まります。

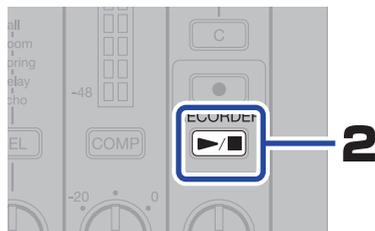


録音が終了します。

再生 / 停止する



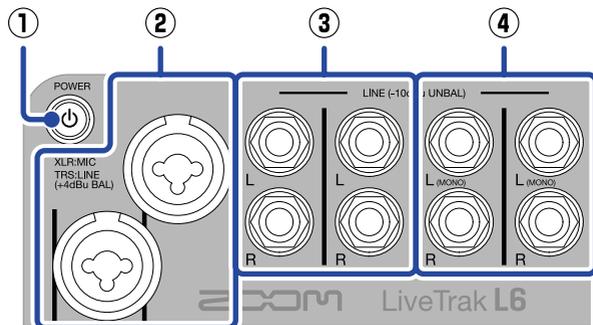
最後に録音したファイルを先頭から再生します。



再生を停止します。

各部の役割

■インプットセクション

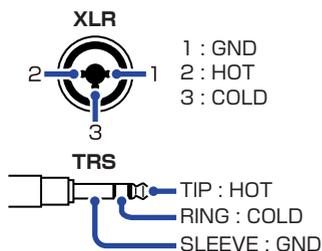


① 電源キー

電源を ON/OFF します。

② INPUT 1、INPUT 2 端子

マイクや楽器を接続します。XLR、1/4 インチフォン (TRS) プラグに対応しています。



③ INPUT 3～4 端子

シンセサイザーやサンプラー、エフェクターなどを接続します。1/4 フォン (TS、アンバランス) プラグに対応しています。



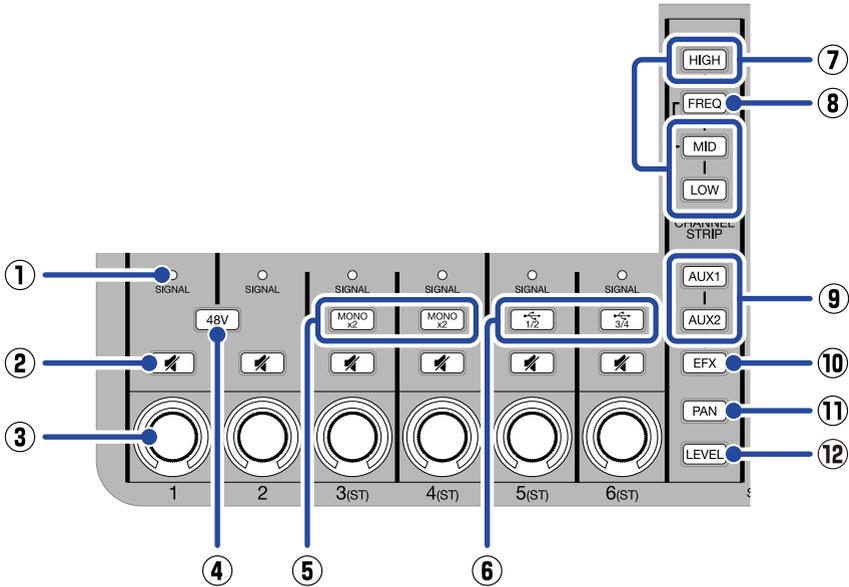
④ INPUT 5～6 端子

シンセサイザーやサンプラー、エフェクターなどを接続します。1/4 フォン (TS、アンバランス) プラグに対応しています。

モノラル機器を接続するときは、L (MONO) 端子に接続してください。



■チャンネルセクション



① シグナルインジケータ

信号が入力されていると緑色に点灯します。クリップすると赤色に点灯します。

② ミュートキー

押して点灯させると、押したチャンネルをミュートします。

③ チャンネルエンコーダ

各チャンネルの音量、音質、左右の定位、エフェクト、AUX への送り量を調節します。調節量はエンコーダ周りのインジケータで表示されます。

④ 48V キー

押して点灯させると、INPUT 1(2) 端子 (XLR) に +48 V のファンタム電源を供給します。

⑤ MONO キー

押して点灯させると、モノラル 2 系統の入力ができます。音量、音質、左右の定位、エフェクトへの送り量の調節は、モノラル 2 系統共通となります。

⑥ USB 1/2(USB 3/4) キー

押して点灯させると、オーディオインターフェイス使用時にパソコンまたはスマートフォンのチャンネル 1、2(3、4) の音声を入力します。点灯中は、INPUT 5(6) 端子からの音声は入力されません。

⑦ HIGH/MID/LOW キー

高音域/中音域/低音域のブースト/カット量を調節するときに押して点灯させます。

⑧ FREQ キー

中音域のブースト/カットする帯域を調節するときに押して点灯させます。(100 Hz ~ 8 kHz)

⑨ AUX1、AUX2 キー

AUX SEND 1/2 端子への送り量を調節するときに押して点灯させます。

⑩ EFX キー

内蔵エフェクトへの送り量を調節するときに押して点灯させます。

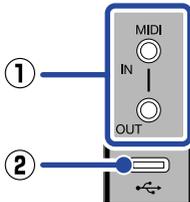
⑪ PAN キー

各チャンネルの音の左右の定位を調節するときに押して点灯させます。

⑫ LEVEL キー

各チャンネルの音量を調節するときに押して点灯させます。

■ MIDI、USB セクション



① MIDI IN/OUT 接続端子

3.5 mm TRS ケーブルを使用して、MIDI 機器を接続します。

L6 がパソコンまたはスマートフォン/タブレットのUSB MIDIインターフェースとなって、MIDI 機器をコントロールできます。また MIDI 機器側から L6 をコントロールすることもできます。

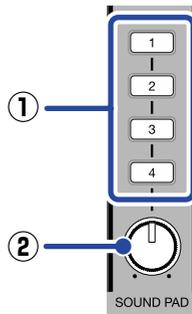
② USB 端子 (Type-C)

パソコンやスマートフォン/タブレットと接続して以下のことができます。

- パソコン用アプリケーション「L6 Editor」で L6 の詳細設定やファイル転送機能を使用する
- L6 をオーディオインターフェースとして使用する
- L6 を USB MIDI インターフェースとして使用する
- MIDI 機能を使って L6 をコントロールする

USB バスパワー動作に対応しています。

■ SOUND PAD セクション



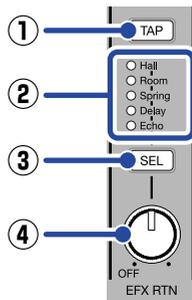
① SOUND PAD 1 ~ 4 キー

各 PAD にオーディオファイルを割り当て、押すことによって再生できます。

② SOUND PAD ノブ

SOUND PAD 1 ~ 4 の音量を調節します。

■ EFX セクション



① TAP キー

内蔵エフェクトの「Delay」または「Echo」を選択しているときに、押した間隔でディレイタイムを設定できます。設定したディレイタイムの間隔で

TAP が点滅します。

② 内蔵エフェクトインジケータ

選択中の内蔵エフェクトのインジケータが点灯します。

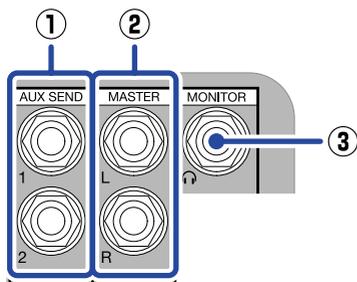
③ SEL キー

内蔵エフェクトを選択します。押すたびに内蔵エフェクトが切り替わります。

④ EFX RTN ノブ

内蔵エフェクトの音量を調節します。

■アウトプットセクション



① AUX SEND 1/2 端子

外部エフェクターなどを接続します。
TRS プラグに対応しています。



② MASTER OUT L/R 端子

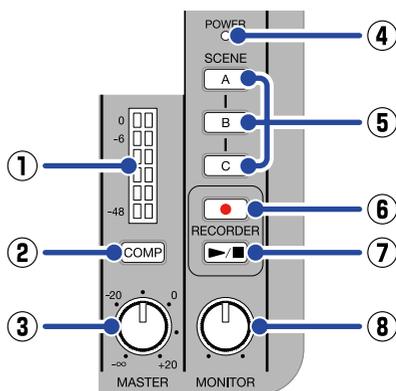
PA システムやパワードモニターなどに接続し、L6 でミキシングしたステレオ音声を出力します。TRS プラグに対応しています。



③ MONITOR OUT 端子

ヘッドフォンを接続し、L6 でミキシングしたステレオ音声をモニターできます。

■マスターセクション



① マスターレベルメーター

MASTER OUT L/R 端子から出力される音量を $-48 \text{ dB} \sim 0 \text{ dB}$ の範囲で表示します。

② COMP キー

押して点灯させると、MASTER OUT L/R 端子から出力される音圧を上げつつ、音割れを防ぐことができます。

③ MASTER ノブ

MASTER OUT L/R 端子から出力される音声の音量を $-\infty \sim +20 \text{ dB}$ の範囲で調節します。

④ 電源インジケータ

電源が ON のときに点灯します。電池動作時は、電池の残量を表示します。

⑤ シーン選択キー

L6 のミキサーの設定を保存したり呼び出したりします。

⑥ REC キー

録音を開始／停止します。

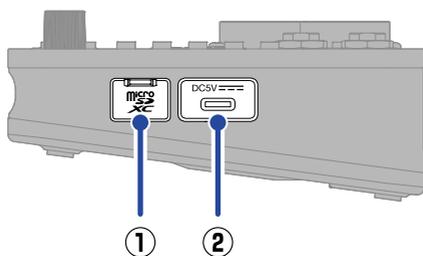
⑦ PLAY/STOP キー

直前に録音したファイルを再生／停止します。

⑧ MONITOR ノブ

MONITOR OUT 端子から出力される音声の音量を調節します。

■本体右側面



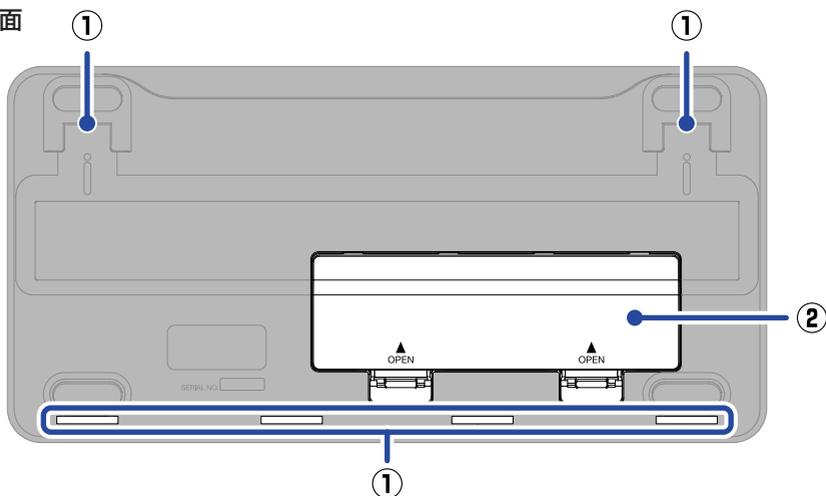
① microSD カードスロット

microSD カードを挿入します。

② 電源用 USB 端子 (Type-C)

AC アダプター (AD-17) またはモバイルバッテリーを接続する電源用 USB 端子です。

■本体底面



① ユーロロックアダプター (ERL-6) 取り付け用穴

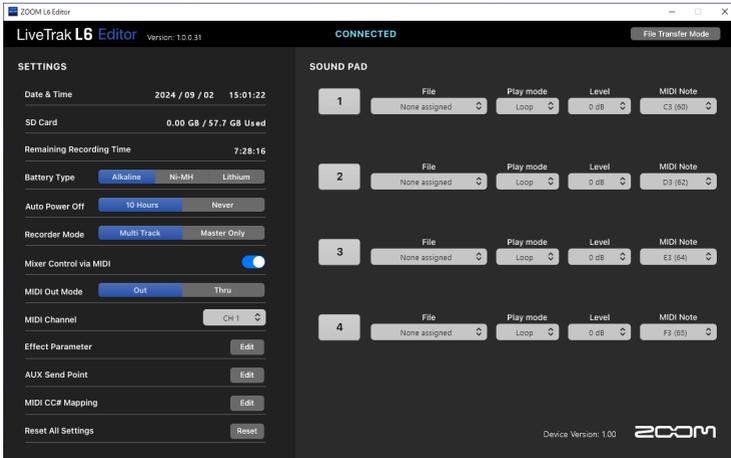
② 電池カバー

単三電池の取り付け／取り外しをするときに開きます。

その他の機能

■パソコン用アプリ「L6 Editor」

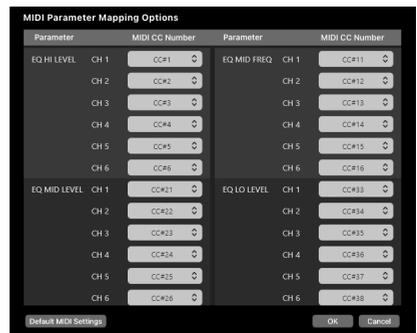
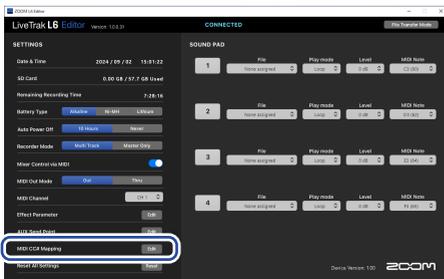
SOUND PAD や日時、Auto Power Off のほか L6 の様々な設定を変更したり、確認できます。またパソコンにファイルを転送することもできます。詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。



一部の設定は L6 本体だけで設定することができます。詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。

■MIDIでL6をコントロール

L6のパラメーターにMIDIコントロールナンバーを割り当てることができます。MIDIコントローラーやMIDIキーボードなどのMIDI機器、パソコンのDAWソフトウェアなどからMIDIコントロールナンバーに対応する操作を行なって、L6を操作できます。詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。



電池を使用する際のご注意

電池を使用する際は、液漏れを防ぐために、以下の点にご注意ください。



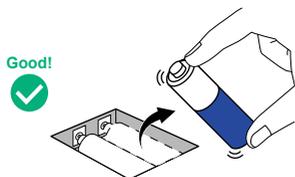
被覆が剥がれている、または表面に傷がある電池は使用しない



異なる種類やメーカーの電池を混ぜて使用しない



新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



使い切った電池は早めに取り外す
長期間使わないときは電池を取り外す

故障かなと思う前に

音が出ない、もしくは非常に小さい

- ヘッドフォンやスピーカーの接続を確認してください。
- MONITOR や MASTER、各チャンネルの出力レベルが下がっていないか確認してください。
- マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。
-  が点灯していないか確認してください。

- コンデンサーマイクを使用している場合は、 が ON になっていることを確認してください。

モニター音が歪む

-  で音量を調節してください。

録音した音大きい、小さい、もしくは無音

- 入力される音声が大きすぎます。マイクと音源の距離を離してください。
- コンデンサーマイクを使用している場合は、 が ON になっていることを確認してください。

録音できない

- microSD カードに空き容量があることを確認してください。
- カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

microSDXC ロゴは、SD-3C LLC の商標です。

USB Type-C は、USB Implementers Forum の商標です。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ズームは一切の責任を負いません。

文中のイラストおよび表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

録音した音声途切れる

- microSD カードを L6 でフォーマットしてください。
- 動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。
動作確認済み microSD カードは ZOOM の WEB サイト (zoomcorp.com/help/l6) で確認してください。

パソコンに接続しても認識されない

- データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。

日時情報が頻繁にリセットされる

- 長期間 AC アダプターや電池から電源が供給されない状態が続くと、本体に記憶した日時情報がリセットされます。
再度 L6 とパソコンを USB ケーブル (Type-C) で接続し、「ZOOM L6 Editor」を起動して日時情報を取得してください。

センドエフェクトがかからない

-  で内蔵エフェクトの音量を調節してください。

SOUND PAD が使用できない

- SOUND PAD にオーディオファイルが割り当てられていることを確認してください。

ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

zoomcorp.com